

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 第3回定例会
開催日時	平成19年11月22日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：村田委員、服部委員、浅野委員、木山委員、一方井委員、八木委員、吉田委員、木曾委員 事務局：小池館長、奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 提言策定のための協議 第2回 2 その他
会議資料の名称	1 「指定管理者制度を検討する視点 よりよい図書館経営のために」（試行版）の活用について（図書館雑誌 2007.3）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長 時間がまいりましたので、第3回定例会を始めます。本日は、提言策定のための協議 第2回ということで、本日の議題にはいります。9月27日の第2回定例会以降、10月11日に第1回研究会、10月25日に第1回検討部会、11月8日に第2回研究会を開催し、11月16日にはさいたま市立桜図書館を視察しました。本日は、10月以降の会合、見学会のまとめをしながら、次に入りたいと思います。それでは、副会長に報告していただきます。</p> <p>副会長 定例会だけで起草するのは難しいという意見から、9月に検討部会を実施するための準備会を開催し、10月から毎月第2木曜日に研究会を開催することを決めました。</p> <p>10月11日の第1回研究会は、委員から提言をまとめるにあたって骨子として、図書館の運営に関して、管理とサービスと組織網の3点を掲げ、それをもとに話し合い、意見を出し合いました。</p> <p>10月25日の第1回検討部会は、既に会議録が出ているので参照してください。</p> <p>会長 11月8日の第2回研究会については、委員から報告をお願いします。</p>	

委員 委員からこれまでの会議で話し合われた要点のまとめが出されまして、それをもとに話し合いを進めました。最初はそれに追加の説明があり、今回からは、指定管理者制度・委託などについて話し合う方向ではどうかとの提案がありました。

会長 11月16日に、さいたま市立桜図書館を視察・見学しましたので、参加した方々に感想を述べていただきますが、その前に当日参加されなかったか方々に対する報告として、私が桜図書館の概要を説明します。

さいたま市立桜図書館は、図書館、区役所、体育館とコミュニティ施設のプラザウエストの4施設が複合した施設でして、平成17年3月に竣工しました。第1の印象として、図書館専有面積が、2,976平方メートルと大変広いということでした。また、機械化された図書館という印象を持ちました。ICタグを導入し、BDSシステムと自動貸出機を設置しているというのが非常に新鮮な感じを受けました。また、案内相談カウンターがあり、専任司書を職員16人中、14人配置しているということでした。さらに、インターネットや持込パソコンが使用できるという話も聞きました。また、書架が低いということと、書架間の幅が広いということでした。さらに、閲覧・読書スペースがゆったりとてありました。これは、3,000平方メートルに近い広さから生まれてくるものだと思います。

続いてICタグ導入について話を聞きました。さいたま市では桜図書館が最初の試みで、あと3館が導入しているということです。ICタグを用いて自動貸出機が設置されているわけですが、平成18年度は全貸出数に占める利用率は66%と利用が進んでいるということです。ICタグについて、利点と同時に難点もあると指摘していたことが印象に残りました。

見学した委員の補足的説明・感想をお願いします。

委員 ICタグについてですが、難点もあるが、それを補って余りあるくらい蔵書点検がスムーズで職員は助かっているということで、これは避けて通れない道だと思いました。自動貸出機でもバーコード使用のものに比べ、ICタグのは操作が非常に簡単で、年配者でも利用できると思いました。ただ、それによって必要以上に人員が削減されなければよいと思いました。

委員 どんな機械でも弱点を持っているものですが、ICタグ導入に関しては、非常に問題が少ないと思います。ICタグが図書館に定着していくのは心配ないと思います。自動貸出機で6割以上利用されている実績があるが、年齢層を問わず年配者にも利用されているということで、それはすごいと思いました。カウンター越しに図書館員がどんな図書が借りられていったか頭にはいるような、これまでの図書館運営と違った形になるのはいいか悪いかはわかりません。

長時間利用できる滞在型図書館の工夫はされている。閲覧席が多く、館内は明るく、低書架で快適性・アメニティを重視して建設された印象を受けました。

委員 西東京市との比較は難しいが、先進図書館として参考になりました。

一番印象に残ったのは、職員が貸出の時に間があるので、これからはいかに会話をすることが課題だと言っていたことです。忙しい現代に、最先端の機械を導入しながらも、昔の時代の良いものがとりいれられるのが良いと思いました。

委員 開館時間が午前9時からでした。広くて素晴らしいが、西東京市は全館駅から近くて便利です。桜図書館は車でないとなかなか行くことができず、利便性という点で、西東京市は立地条件が良いと思いました。

会長 中央図書館構想が、さいたま市ではどのように運用されているか期待を持っていったが、桜図書館は中央図書館ではないので、聞けなかったので物足りなかった。

中央図書館構想は、西東京市では近い将来の課題だと思っているので、具体的に考えていくべき課題だと思います。

続いて、検討部会では十分討議できなかった指定管理者制度について、本日配布した資料を見ながら考えてみたいと思います。副会長に進行をお願いします。

副会長 指定管理者制度については、第2回臨時会で大まかな話をしましたが、今期の残り少ない会議で提言を起草していかなければならず、重要な検討事項である指定管理者制度・委託について、具体的に協議しなければいけないと考えました。前回資料とした「指定管理者制度を検討する視点」を元にして検討したいと思います。

どういう点が論点になっているかということ、指定管理者制度を導入した場合、西東京市図書館の設置の目的を効果的に達成できるかという視点を考えなければいけない。また、利用者の満足度が高まるようなサービスや運営が期待できるかどうか重要なポイントとなります。それから、教育機関としての機能を維持できるか。図書館固有の業務形態として、連携・協力が十分に行えるか。また、事業の継続性が確保できるか。中立性・公平性が確保できるか。無料の原則は維持できるか。その他の問題についてみなさんで確認していければと思います。

委員 端的に言って、指定管理者制度がよくわからない。市財政を助けるため、低い賃金で指定管理者を使うのかくらいしか理解できない。基本的なことを館長から教えてほしい。

館長 地方自治法の改正により、公の施設の管理運営の方式として指定管理者制度ができ、西東京市ではこの制度の導入を進めています。公の施設とは、市民が利用するために市が設置する施設をいい、図書館も指定管理者制度を導入できるようになりました。指定管理者制度導入によって、経費削減だけでなく、質の高いサービスが提供できるであろうという前提が、西東京市の導入を進める趣旨であると考えます。

委員 新聞やマスコミでは、指定管理者制度の良い評価ばかりがとりあげられている。民間活力の導入で素晴らしい図書館ができるなら良いと思っていたが、いろいろ勉強して、そうでもないような気がしてきました。民間は利潤を得るため、効率性を重視し、中間搾取されて実際に働く人は、低賃金になってしまうのではないかと思います。

館長 指定管理者制度と委託とは、分けて議論する必要があります。指定管理者制度を導入した図書館は全国でいくつかあるが、評価は定まっていない状況です。

図書館は基本的には利用の対価をとらない施設なので、市からの管理運営費だけで賄うこととなりますから、業者にはメリットが生まれにくい条件はあるように思います。現在、図書館で指定管理者制度を導入している施設は、規模が大きいとか他の機能との複合施設であるといった状況があるかもしれません。

また、西東京市では、公民館と図書館が複合している施設は4施設ありますが、指定管理者制度を検討する場合、公民館・図書館が一体になって導入する必要があるのではなかなか難しい問題があると思います。

会長 指定管理者制度導入、嘱託職員の運用、正規職員の動きに検討していかなければならないのですが、本日は指定管理者制度を検討する上でのチェックポイントを整理したいと思います。

時間が経過しましたので、先生方から学校現場から見た意見をアドバイスしていただけたらと思います。

委員 IT化、子どもの読書離れの中で、図書館をどうするかは、根底的な問題だと思います。今までの図書館機能ではできなかったことができるようになったので、西東京の子どもたちのために提言を策定したいと思います。

委員 指定管理者制度は、図書館には内容的に違和感があると思います。子どもの読書活動はどうなるのか、もっと丁寧に検討していく問題であると思います。

委員 小・中学校には学校図書館専門員がいるが、指定管理者制度でどうなるのか。また、小学校の場合、図書館は本を借りるだけでなく、図書館機能を勉強する場であるので、体験する場として大事だと思います。

委員 指定管理者制度の実態がつかみ辛いようです。民間を含めた団体が、図書館の看板を掲げて運営するのですから、住民との関わりとは別に、学校等の組織との関わりもあり、その関係が損なわれる危惧があります。

委員 指定管理者制度のメリットである、費用の削減効果については、西東京市図書館の場合、導入しなくても良いということですか。

館長 西東京市図書館で指定管理者制度を導入した場合の経費の積算はこれまでしていません。先ほどの申し上げたように、複合施設という課題がありますので難しい問題がありますが、検討してみたいと思います。

会長 本日は、指定管理者制度のチェックポイントについて話し合いましたが、十分な結論は出ませんでしたので、次回の会議からさらに検討を重ねたいと思います。時間もきましたので、本日は終了したいと思います。